

日産財団設立50周年記念シンポジウム開催しました

去る2024年12月4日、日産財団設立50周年記念シンポジウムがウェスティンホテル横浜で開催されました。理科教育賞、リカジョ育成賞の過去の受賞校・受賞団体をはじめ、日頃当財団を支えてくださる多くの方々にご出席いただき、温かい会となりました。

はじめに当財団理事長の久村春芳が「公益財団が行う社会貢献事業としての人材育成の可能性を改めて議論していただきたい」、と開会の挨拶をしました。

つづいて、東京科学大学理事長で教授の大竹尚登先生から『公益法人の教育系事業への期待』と題した基調講演をいただきました。大竹先生は21世紀を迎え2つの顕著な変化として「加速度的に進んだ情報の利用」と「人と地球・社会の理解」が表れたことから現代を「変化の時代」と位置付けました。その変化に対応するために科学的集合知をもった人材が新しい科学を開拓し、新たな価値を創り出して新産業創生に繋げることが重要であること、そして公益法人の教育系事業には「ありたい未来」を描き、それに向かってHowを考える活動を期待する旨のメッセージを発信されました。



東京科学大学理事長 大竹尚登先生



華道家 山崎蘭加様

その後『公益法人の社会貢献および人材育成事業の可能性』というテーマで当財団にさまざまな立場で携わる6名のパネルディスカッションを行いました。

ディスカッションに先立ち、当財団理事で華道家の山崎蘭加様より『ビジネスと社会の関係の変化』に関してお話いただきました。どのような社会問題にどのプレーヤーと協力し解決につなげるのかと問いを投げかけられました。

このお話を受け、「複雑で構造的な社会課題をどう解決するか。」「多角的な視野を持ち、地域格差をITで埋めていく一方、人間の心に火をつけるのはやはり人間である。」「つながる機会を設ける、そこに財団のような組織が存在できるのではないか。」など、活発な意見交換ができた有意義な時間となりました。



参加者との意見交換



当財団理事長 久村春芳



未来のリーダー教室 「中高生のための伝える力講座」開催しました

当財団主催の「未来のリーダー教室」の修了者達からなるアルムナイ実行委員達が2024年12月1日に東京渋谷で「中高生のための伝える力講座」を企画・開催しました。実行委員達は学校・学年を超えて約10か月間、延べ20回にもおよびミーティングを重ねて当日を迎えました。当日はアルムナイメンバーを含め約20名の中高生が参加しました。

武蔵野大学アントレプレナーシップ学部学部長の伊藤羊一先生が『超実践！課題解決の本質&伝え方の極意』をお話しされました。伊藤先生の「伝えるのは、聞き手に動いてもらうため」という言葉に学生たちは興味をひかれた様子でした。

後半は、株式会社BYD代表取締役の井上創太先生が『知っていることできるは全然違う！プレゼン道場』を講演されました。

2つの講演を拝聴後、グループにわかれて実践へと移りました。

何をどう伝えるか具体的に学ぶ機会はなかなか持てないという意見から持ち上がった今回の企画です。参加者は「伝える力」について刺激を受けながら楽しんで学んでいる様子でした。

この記事は右のQRコードからお読みいただけます。



理科教育助成 2025年度理科教育助成対象校との面談を開催

2025年度理科教育助成に全国から多くの応募があり、選考の結果35校への助成が予定されています。

4月からの実践開始に先立ち、1月末から2月頭にかけて選考委員とのグループ面談がオンラインで5回に分けて行われました。各校のご担当の先生方による熱のこもったプレゼンテーションの後、選考委員からの質疑やアドバイスがありました。

また、他校の実践内容・プレゼンテーションを聞くことで新たな発見もあったのではないかと思います。

2025年度の実践が充実したものとなることを期待します。

